

ひろしま自然保育認証制度について



令和6年2月

広島県健康福祉局安心保育推進課

1. 広島県について
2. ひろしま自然保育認証制度
3. 支援施策について
4. 今後の取組など



1. 広島県について

基本情報	面積	8,479.03平方km（全国10番目）
	人口	276.0万人（全国12番目）

◆ スキー場（県内13箇所）も、海水浴も。

◆ リンゴも、みかんも。



恵まれた自然環境と都市機能が共存



2.ひろしま自然保育認証制度

平成29年10月制度創設

自然体験活動を計画的・継続的に取り入れて、教育・保育を行っている団体を、県独自の基準により認証

制度のねらい

- 広島県の豊かな自然環境や地域資源を活用した自然体験活動の推進
- 自然保育を実施する団体に対する安心感や社会的な認知の向上
- 保育環境の多様化とファミリーフレンドリーな広島県づくり



第1次認証団体 (H30.1.19認証式)

認証基準抜粋

区 分	I 型	II 型
対 象	広島県内に所在する幼児教育・保育団体(公私立を問わず、すべての団体)	
位 置 づ け	質・量ともに充実した自然体験活動を実施している団体	日々の保育等に自然体験活動を積極的に取り入れている団体
自 然 体 験 活 動	屋外を中心とした自然体験活動が平均して週10時間以上	屋外を中心とした自然体験活動が平均して週5時間以上
屋 外 場 所	自然フィールドが園庭以外にあること	自然フィールドが園庭以外にあること ※ただし、園庭において多様な自然体験活動が実施できる場合は、この限りでない。

平成29年10月16日
中国新聞



自然保育の「認証」開始

県 安全対策など質維持へ

県は、野外での遊びや体験を教育に生かす幼稚園や保育所など向けに「ひろしま自然保育認証制度」を始めた。野外保育を重視する

「森のようちえん」や同様の取り組みが全国的に増える中、安全対策などの基準を定めて一定の質を保ち、保護者に周知する狙い。認証制度は都道府県で長野、鳥取に続き3県目。初回の認証申請を31日まで受け付ける。

(明知筆)

認証制度は、幼稚園や保育所、認定こども園のほか、認可外の保育施設を運営する団体が対象。自然体験活動が週平均10時間以上ある▽園庭以外に季節や

天候に応じた体験ができる場所がある▽安全管理マニュアルを作っている▽など10項目の基準をクリアしているかを、現地確認も踏まえて判断し、認証する

万円の補助を受ける。年一回の認証申請を31日まで受け付ける。認証された団体には、スタッフが自然保育の指導に関する研修を受ける費用の半額(1団体当たり上限15万円)を補助する。年

内に認証団体の第1弾を決定する見通し。

野外保育に取り組む「森のようちえん」全国ネットワーク(東京)には、全国で約200団体、県内では6団体が加盟する。県安心保育推進課は「自然環境を活用した保育は定着しつつある。安心して

体験できる機会が増え、保護者の選択肢の一つになれば」としている。同課(082)513)317911平日のみ。

各県の自然保育認証の取り組み事例

県	制度名	開始年月	認証園数	補助などの内容
鳥取	とっとり山等自然保育認証制度	2015年4月	7園	児童数に応じた運営費補助(半額程度)第2子以降の保育料減免分の補助
長野	信州やまほいく認定制度	2015年4月	111園	認可外施設の人員費補助(4分の1)県の自然保育ポータルサイトで紹介
広島	ひろしま自然保育認証制度	2017年10月	—	研修費用の補助(半額)県のホームページで紹介

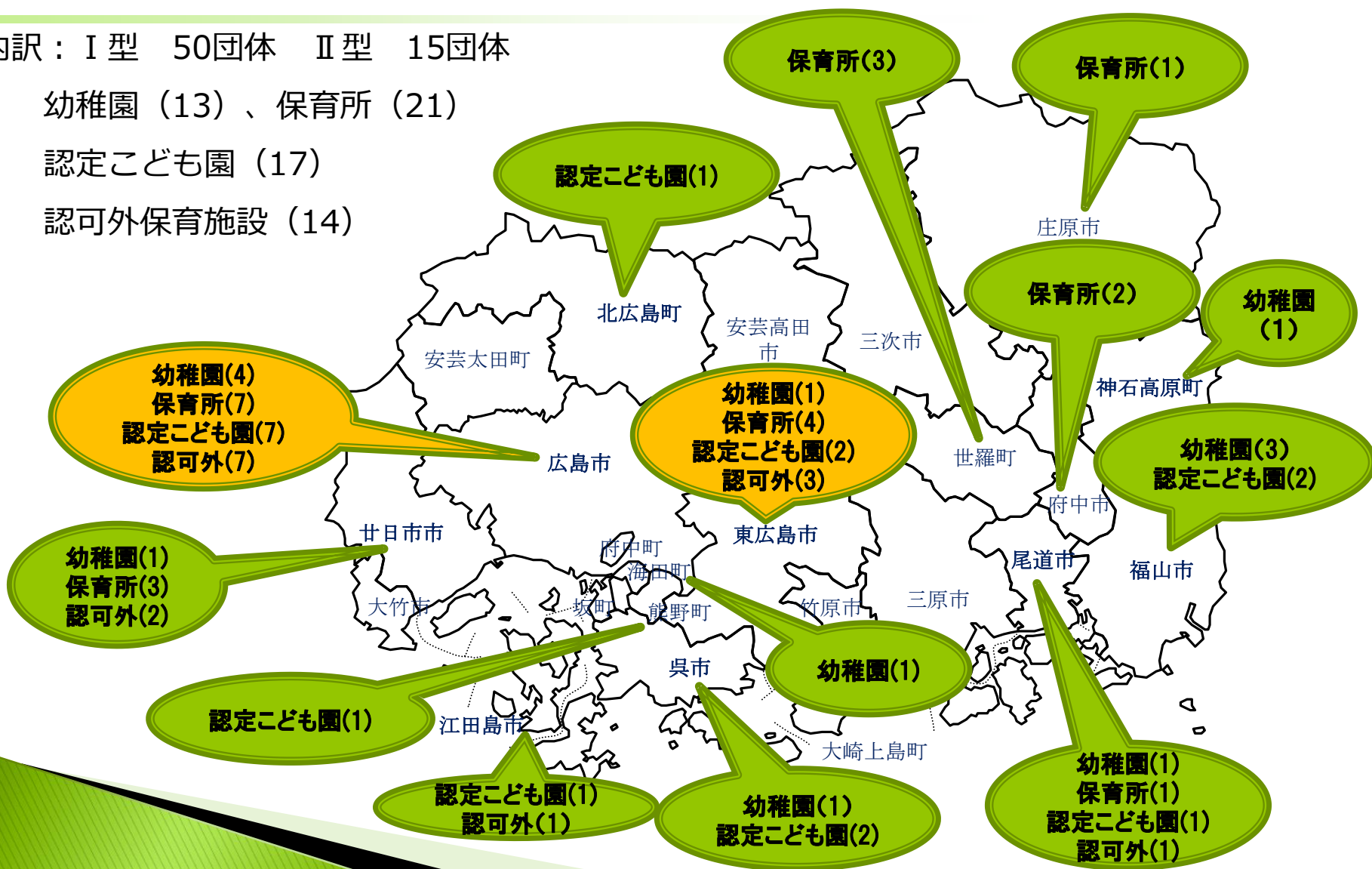
6 5 団体を認証 (令和6年2月時点)

内訳：I型 50団体 II型 15団体

幼稚園 (13)、保育所 (21)

認定こども園 (17)

認可外保育施設 (14)



これまでの取組①

平成26年度

- 「鳥取・広島両県知事会議」
森のようちえんの認証制度について、連携して今後のあり方を検討

平成27年度

- 鳥取県・長野県、自然保育に係る認証・認定制度開始
- 鳥取県、三重県と合同で長野県を視察
- 県内視察や有識者との個別の意見交換を実施

平成28年度

- 県内視察や有識者との意見交換を継続実施
- 園所における自然体験活動に係るアンケート調査を実施
- 認証制度の創設等に係る経費を予算要求

これまでの取組②

平成29年度～
令和5年度

- 検討会議の設置（計5回）
- **認証制度創設（H29.10）**
- 自然保育懇談会（各2回/年）※令和4年度から交流会
- 保育者等安全管理研修（各2回/年）
- アドバイザー派遣 令和4年度（計24団体）
- 認定団体**65団体**（令和6年2月）
- ひろしま自然保育推進協議会設立（令和5年12月）

3. 支援施策について

平成28年に県が行ったアンケート(対象:幼稚園、保育所、認定こども園922施設、回答率63.4%)
では、自然体験活動を実施するにあたり・・・

- ①「**安全面**の確保が大変」(82.1%)
- ②「自然体験活動に関する知識やスキルが足りない」(42.7%)
- ③「活動する場所がない」(39.0%)
- ④「保護者の理解を得ることに課題がある」(20.5%)

・・・という調査結果



「人材育成」「情報発信」等を積極的に実施



人材育成

認証団体交流会開催

★認証団体間の交流促進

- ・実践内容の発表や交流・実践における課題や解決策の共有
- ・県の事業への意見
- ・年/2回



安全管理専門研修

★安全面の資質向上による自然保育の信頼性向上

- ・自然保育認証団体として押さえておくべき安全に関する基本的な知識・技術を習得
- ・専門的知見を持つ団体による研修会(県主催)を実施
- ・R4年度は、10月と翌年3月に開催
- ・年/2回

アドバイザー派遣

★自然保育に係る取組支援・資質向上

- ・各団体により異なる課題を解決するため専門知識を持つアドバイザー(県が任命)を派遣
- ・団体の希望(計画)に沿って県が派遣調整
- ・R5年度からは、非認証団体のみの派遣に変更
- ・保育者や保護者を対象にアドバイス

自然保育推進事業補助

★自然体験活動のさらなる推進

- ・各団体により異なる課題を解決するため、各団体が主体的に実施する研修や研修参加に要する費用を補助
- ・認証団体自らがアドバイザーを選択し招へいできる経費等を補助(R5年度から実施)
補助基準額(補助率1/2)
 - I型 360千円/年
 - II型 80千円/年

情報発信

リーフレット作成

ターゲットを絞った広報の実施

【内容】

自然保育に対する保育従事者の理解を深めるためのリーフレットを作成(平成30年度)

⇒各園・所を初め、県内外に積極的にPRする。



HPの充実

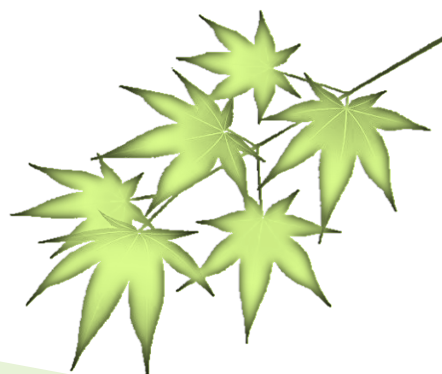
制度内容を県民に幅広く発信

【内容】 制度・補助金の内容説明
認証団体の活動状況報告 等
⇒ 学生等の就職先の検討材料にも。

☆その他、県や民間の広報媒体等で積極的に情報発信
ひろしまの自然保育のリーフレット(団体の紹介)

4. 今後の取組など

- ★ 自然体験活動の機運醸成
- ★ 自然体験活動の事例収集と発信
- ★ 認証団体数の拡大



ひろしま自然保育推進協議会設立

(2023年12月1日)

目的

県内の自然体験活動及び自然保育の充実と普及促進を行うとともに、県の自然保育事業の発展を推進することを目的とする。

県

- ・自然保育全般に係る相談
- ・県事業(安全管理研修や交流会)への協力
- ・新たな認証取得に係る各園への周知

協議会

- ・有識者(大学教授、園長)、県自然体験活動アドバイザー等9人で構成
- ・原則月1回会議
- ・日本自然保育学会(保育環境WG)等、関係団体からの情報提供
- ・資質向上に係る研修会の開催

各園

- (認証園)
- ・資質向上に係る情報提供や自然保育に係る相談依頼
- (未認証園)
- ・県や協議会からのアドバイザー派遣や相談

